

【研究シーズテーマ】

持続可能な中山間地域のまちづくり

 工学部 環境土木工学科 准教授 **今川 朱美**

Keyword
**中山間地域／高齢化／地域持続可能性／
次世代モビリティ**


【研究シーズの概要】

過疎化が進む中山間地域の農業集落などでは、生活利便施設や公共交通機関などの生活インフラの持続が困難となり、持続可能な地域社会の形成が課題となっています。私たちは、GPSを用いて地域住民の日常生活の状況を調査し、行動パターンや移動ニーズを分析し、地域の足となる次世代モビリティ(GSM)の導入可能性を検討します。地域の期待を背負って、地域拠点からご自宅近くまでのラストワンマイル型GSM実走実験では高い評価を得ています。



図1 調査の様子



図2 グリーンスローモビリティ実走実験の様子

【新規性・独自性・従来研究(技術)と比べての優位性】

- 中山間地域の生活者(住民)行動調査に基づく計画を行います。
- GPSを用いた行動調査を社会基盤整備に反映させた研究です。
- 国交省の推奨するGSMの実走実績のうち、大学が主体となって行ったものは、東京大学と本学の2件となっています。

【産業界での展開・用途】

- 中山間地域の問題は多く、解決策が見出せぬ中、可能性のある事業です。
- 広島県内で、2市町、5地区での行動調査の実績があります。
- 防犯に対する住民意識を高め、防犯コミュニティの形成を促すことができます。

連絡・問合せ先

 広島工業大学 研究支援機構 〒731-5193 広島市佐伯区三宅2-1-1
 (事務窓口: 研究・地域連携支援部) TEL:082-921-4222 FAX:082-921-8963
 URL <https://www.it-hiroshima.ac.jp/for-research/office/> E-mail kyo-kiko@it-hiroshima.ac.jp